

じゃんぽ!

令和2年12月18日
岐阜市立岐阜東幼稚園
なつめ組 No.26

先週は餅つきをしました。初めて、杵で餅をついた子供たちは、重さにびっくりしながらも、力いっぱいついていました。こういった季節を感じられる行事を経験していくことは、日本の文化を楽しく学べる素敵な機会ですね。

そしてその日の午後から、なつめ組では、餅つきの遊びが繰り広げられました。行事が普段の子供たちの遊びに自然と変身し、子供たち自身で考えた遊びとなっていました。



←「お餅つきやる!」そんな言葉から遊びが始まりました。杵を作るのに使えそうな空き箱やロール芯を探し、「つくやつってこうだった?」と友達同士で確認し合います。作りたいものによって材料を考えたり工夫したりする力が育ってきています。

「僕がつくときは待っててね。」

「じゃあ、順番ってことね!」



「先生たち、水でおもちひっくり返していたよね。」杵でつく子もいれば、手返しする子もいます。ついたお餅(広告紙を白い紙やティッシュで包んだもの)は、いろいろな味をつけてみんなでお餅パーティー!子供たちのアイディアで遊びが広がります。



なつめ組もうさぎ当番を始めて2週間。最初は緊張して朝からドキドキしていた子も、今では自分からウサギに触りにいくほどに。「ウサギってふわふわであったかいんだ…。」飼育当番をして初めて発見することもあります。



今年度、初雪に子供たちは大興奮!「雪合戦したい。」「かわいい雪だるま作りたいな〜。」な〜んてつぶやいていた子供たちですが、積もることなく…。でも初雪をしっかりと!?口の中にいれて自然を感じていた、なんとも面白いなつめ組のみんなでした。